

22年度第1四半期決算

連結純利益は23%減 115億円

アクサ・ホールディングス・ジャパンが8月15日に発表した2022年度第1四半期決算によると、連結経常収益は前年同期比4・1%増の2717億円、連結保険料等収入は同9・4%増の2164億円、連結経常利益は同19・5%減の187億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同23・8%減の115億円と

なった。グループ連結の総資産は前年度末比2・7%減の7兆6374億円、ソルベンシー・マージン比率は同62・9ポイント低下して749・2%となった。

個社ごとに見ると、アクサ生命は、経常収益は前年同期比4・8%増の2562億円で、うち保険料等収入は同10・0%増の1998億円だった。経常利益は同21・1%減の171億円。

新契約高（個人保険）は同13・8%増の8449億円、新契約年換算保

険料（個人保険十個人年金保険）は同9・5%増の227億円となった。うち、第三分野は同0・5%減の82億円。保有契約高は個人保険が前年度末比2・6%増の20兆3865億円、個人年金保険が同1・9%減の9877億円。保有契約年換算保険料（個人保険十個人年金保険）は前年度末比1・8%増の6756億円だった。うち、第三分野は同1・6%増の2450億円。基礎利益は前年同期比39・9%減の159億円となった。当期純利益は同25・7%減の104億円。総資産は前年度末比2・7%減の7兆5253億円となった。ソルベンシー・マージン比率は同62・5ポイント減少し698・6%となった。

アクサ損保は、元受正味保険料は前年同期比3・6%増の152億円、正味収入保険料は同3・4%増の148億円となった。正味支払保険金は同10・4%増の75億円。正味損害率は同3・1ポイント上昇して57・7%となった。経常利益は同3・4%増の19億円、四半期純利益は同0・8%増の13億円となった。総資産は前年度末比2・7%減の920億円。単体

ソルベンシー・マージン比率は同12・2ポイント上昇し605・1%となった。

アクサダイレクト生命は、経常収益は前年同期比20・5%増の31億円で、うち保険料等収入は同16・6%増の30億円だった。経常利益は▲2億円（前年同期▲1億円）。基礎利益は▲2億円（同▲1億円）、四半期純利益は▲1億円（同▲1億円）だった。総資産は前年度末比1・0%増の168億円、ソルベンシー・マージン比率は同113・3ポイント低下し1104・4%。